



今週、ぱるタイム通常号42号を発行していますが、物資提供のとりくみがあつたため急遽、臨時号を発行しています

<http://www.palcoop.or.jp>

～被災地に届けたい！ わたしたちの想い～

台所用品のご提供ありがとうございました 「台所用品セット」を作り、被災地へお送りします

20日～24日の週には組合員の皆さまから、約10万点の新しい台所用品を提供いただきありがとうございました。また、被災地へ心寄せるメッセージカードも多数お預りしました。25日には、1軒分づつの箱詰め作業に委員の組合員さん105名、職員157名が参加し321セット作成しました。

「台所用品セット」は、30日ごろ岩手県遠野市に到着し、パルコップからのボランティア職員が直接お届けさせていただきます。仮設住宅に入ってから生活用品として、喜ばれることと思います。



パルコップ組合員さんから大切にお預かりしました(写真上: 鶴見支所、写真右: 寝屋川支所)。



「割れないようにきれいに包んでね」委員の娘さんもいっしょに(枚方組合員会館)



「どんなご家族が使ってくださるかしら？」もらう人の気持ちになって3人家族用のセット作り

(寝屋川組合員会館)



「みんなが笑顔でくらせるようになるまで応援したいです」とメッセージを書きました(阿倍野組合員会館)

子どもたちも心を込めてメッセージを書きました
(城東組合員会館)



新任のごあいさつ



2011年通常総代会において新役員が選任されました。総代会の内容については、ぱるタイム42号をごらんください。

今年は震災のことを抜きにしては語れない一年になるだろうと思います。そして今年ほど、利用ということをご組合員の皆さんから熱く聞いたことはありません。今、暮らしは厳しいです。おおさかパルコップのエリアでも本当に暮らしは厳しく、一円でも安いものをという気持ちで日々暮らしておられると思います。しかしまた、この震災の中で、たった2センチ1グラムの1円玉の支援がどれだけの重さを持っていたかということ、私たちは学びました。暮らしをよくするため、1円玉の重さを真剣に受け止めて、パルコップもこの1年2年、利用を、事業を伸ばしていきたいと思ひます。そのことが、総代のみなさんが総代会で発言されたように、本当の支援だろうと思ひます。そういう意味で、暮らしを豊かにするために、学んでいきたい。そのためにも、組合員活動を旺盛にしていきたいと思ひます。

私の大好きな斎藤隆介という童話作家の「花さき山」という絵本があります。小さな子が妹や弟のために優しくけなげに我慢をしている、そういうことが一つあると花さき山には一つ花が咲くんだ、というお話です。東北の民話から取られたと聞いています。「優しくあれば花が咲く、命をかけてすれば山ができる。うそではない本当だ」と。私は、この優しさ、支えあうという協力の原点に立って、その役割を果たしていくために微力ですが頑張りたいと思ひます。

(総代会での新任理事長挨拶 梶田喜代隆)

<訂正とお詫び>ぱるタイム42号(6月27日から配布)に誤りがありました。2ページ「2011年通常総代会」本文の(誤)大阪府生協連 津田明子会長理事(正)大阪府生協連 津村明子会長理事訂正し、お詫びいたします。



箱の一番上にメッセージを乗せています

組合員さんからお預かりしたメッセージ